

平成26年12月定例市議会市政報告

平成26年第5回鉏路市議会12月定例会の開会にあたり、9月定例市議会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「**神奈川県大和市との災害時相互応援協定の締結**」についてであります。

去る11月20日、大木大和市長に本市へお越しいただき、大和市・鉏路市災害時相互応援協定を締結いたしました。

この協定は、大和市または鉏路市のいずれかで、災害が発生した場合、被災した市の応急対策及び復旧活動が迅速かつ円滑に遂行されるよう、相互の応援体制などを定めたものであります。

東日本大震災の教訓から、同時被災の可能性の低い、遠隔地からの支援の有効性が再認識され、かつ鉏路市と大和市はともに飛行場を有する自治体であり、本協定を締結できましたことは市民の安全安心にとって、大変意義あるものと感じております。

報告の第二は、「**楽天(株)との連携及び協力に関する協定の締結**」についてであります。

この度、鉏路市は、楽天株式会社様と、11月13日付けで鉏路市の経済及び地域社会の発展に寄与することを目的として、「**連携及び協力に関する協定**」を締結いたしました。道内では、平成21年7月に北海道が協定を締結しており、道内市町村としては、鉏路市が初の協定締結となります。

連携する項目は、IT活用を中心とした九つの事項にわたっております。

特に、当市にとりまして、今回の連携協定は、平成24年から進めております政策プランの取組の追い風になるものと捉えており、楽天株式会社様の楽天市場、楽天トラベルなどを通じて、鉏路市の観光・物産・商品に直結する情報を全国に幅広く発信できますことから、特に販路の拡大、観光の振興という点から地域経済の活性化につながるものと期待を寄せているところでございます。

市といたしましては、新年度予算編成の時期を控え、この連携協定に基づく事業の具体化の作業も進めてまいりたいと考えているところでございます。

報告の第三は、「**日本銀行旧鉏路支店に係る取得申出書の提出**」についてであります。

日本銀行旧釧路支店の保存に向けた検討につきましては、9月定例会市議会の重要報告案件でご報告いたしましたとおり、11月25日を締切日として、日本銀行文書局から旧釧路支店にかかる取得要望の受付開始の通知がありましたことから、11月13日付で、取得要望書を提出いたしました。

今後は、これまでの庁内検討会において、旧釧路支店建物の一部のコンクリート強度について、判断が難しい部分がありましたことから、日本銀行様にご了解を頂いた上で、今回、12月補正予算において、旧釧路支店建物の専門的な調査にかかる経費を提案させて頂いております。この調査の結果を踏まえまして、取得の是非を判断してまいりたいと考えております。

報告の第四は、「**街路灯維持費等補助金の追加支給**」についてであります。

町内会等が設置している街路灯につきましては、4月1日を基準日として、年度のはじめに1年分の電気料の80%を補助しておりますが、昨年引き続き電気料金の値上げによる町内会の負担増を考慮いたしまして、この度、平成26年11月分から翌年3月分までの5か月につきまして、新単価で再計算の上、年度内に差額を支給することといたしました。

今後、詳細な手続等につきましては、担当課より町内会の皆様へお知らせいたします。

報告の第五は、「**海外との交流事業**」についてであります。

まず、台湾との交流事業につきましては、釧路線休止の判断をした復興航空の社長の交代を契機として、去る10月24日に、蝦名市長をはじめ、釧路商工会議所及び釧路空港ビル株式会社の参加のもと、復興航空を訪問し、国際定期便及び国際チャーター便の誘致活動を実施するとともに、政府関係機関に対し協力要請を行ってまいりました。

また、日本航空及び全日本空輸の台北支店を訪問し、各社の路線を利用した乗り継ぎによる釧路地域への観光客誘致に対する協力要請を行ってまいりました。

復興航空では、呉新社長^うに対応いただき、道央・道南にはない東北北海道の魅力をPRするとともに、釧路への国際チャーター便運航や国際定期便の再開について、要望してきたところであります。

翌25日には、台北市内の百貨店で開催されていた日本物産展における観光プロモーション活動と、友好園であります台北市立動物園の開園100周年の記念事業に参加したところであります。その後、園内の特設ブースにおいて釧

路観光や釧路市動物園のPRを行ってまいりました。

さらに、27日と28日には、観光コンベンション協会が中心となり、旅行代理店21社を訪問し、冬季観光に向けてのセールス活動を実施いたしました。

続きまして、ニューオリンズ港姉妹港提携30周年記念親善訪問につきましては、蝦名市長を団長に、黒木市議会議長、栗林釧路商工会議所会頭並びに斉藤釧路港湾協会会長など16名による親善訪問団を結成し、姉妹港提携日の10月31日に合わせ、10月29日から11月1日までの日程でニューオリンズを訪問してまいりました。

ニューオリンズでは、同港湾局において、姉妹港提携30周年記念の友好調印式を行い、今後益々の交流促進と両港の発展につきまして、互いに努力することを確認いたしました。

また、ニューオリンズ市役所への表敬訪問を行うとともに、ニューオリンズ港及び全農グレイン社の視察を行い、同社では世界最大級の穀物用輸出エレベーターを見学いたしました。

特に、今まさに整備を進めている国際バルク戦略港湾・釧路港を、ニューオリンズ港関係者の皆様に直接ご説明することができ、今後の経済交流拡大への期待の高まりを共有できましたことは、この度の訪問の大きな成果の一つであったと考えております。

報告の第六は、「釧路市こども遊学館入館者100万人達成」についてであります。

平成17年7月9日に開館した釧路市こども遊学館は、開館から9年4か月を迎えた11月24日に有料入館者数100万人を達成いたしました。

同日は、100万人目の入館者のくす玉オープンの後、記念入館証明書および10年間有効パスポートや記念品の贈呈、宇宙飛行士の毛利 衛さん、漫画家の松本 零士さんからの祝電披露や記念撮影等を行い100万人達成を祝いました。

短期間での100万人達成は、毎年2千を超える事業を展開するなど、楽しく「遊び学ぶ場」として市民の皆さんに親しまれる施設運営に尽力されている館長はじめ、スタッフの皆さんや「あなたの活動からこどもたちの笑顔が生まれます」を合言葉に工作、実験、人形劇など、こどもたちに豊かな遊びの機会を提供していただいている地域ボランティアの皆さんのお力によるところも非常に大きいものと考えております。

今後とも、こどもたちの笑顔の絶えない「遊び学ぶ場」として多くの皆さんに利用していただける施設運営に努めてまいりたいと考えております。

報告の第七は、「音別町行政センター新庁舎の業務開始」についてであります。

昨年から建設を進めておりました音別町行政センター新庁舎につきましては、去る11月19日に、ご来賓をはじめ、多くの関係者の皆様ご臨席のもと落成式を開催し、11月25日より業務を開始いたしました。

新庁舎は、東日本大震災の教訓を踏まえ、防災拠点として、大規模地震による巨大津波などから市民の安心安全を守るため、屋上に津波一時避難場所を確保し、被害を受けにくい3階に電気室、防災用備蓄庫、会議室を兼ねた避難所を設置するなど、防災機能の強化を図ったところであります。

また、地域の森林資源である「カラマツ」を壁材に使用し、温もりのある空間を演出したほか、市民に開かれた利用しやすい庁舎を目指し、市民交流の場として多目的スペースを設けました。

音別町行政センター新庁舎がまちづくりの拠点として多くの市民に親しまれ、地域に根ざした施設となるよう、今後ともより一層、質の高い行政サービスの提供に努めて参りたいと考えております。

報告の第八は、「工事発注状況」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約115億1,000万円となっており、11月末現在における発注済額は約111億3,000万円であり、発注率は、およそ97%となっております。このうち、地元企業への発注は、金額で約90億6,000万円、率では約81.4%であります。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約98%、上水道事業で約89%、下水道事業で約87%、住宅建設事業は100%の状況となっております。

以上で、市政報告を終わります。